Ducky Shine4 日本語ユーザーマニュアル

モデルNo.　:DKSH1408SD
キーボードのタイプ　:メカニカルキーボード
搭載スイッチ:CHERRY　MXスイッチ
インターフェース : USB2.0
搭載LEDタイプ : 2色LED （※LED色に関しては。本書ではColorA,ColorBと記載します）
キーキャップ材質 : ABS樹脂
印字方式 : レーザー印字
サイズ : 460 x 154 x 34mm
重さ : 1200g
生産国 : 台湾
ファームウェアバージョン : US ANSI V1.1.0, EU ISO V3.1.0, JP JIS V2.1.0

USB キーリピート加速設定について

キーリピートが開始されるまでの間隔（RepeatDelay)とキーリピートの速度（Repeat Rate)を設定・変更可能です。お使いのシステム環境やアプリケーションの条件により、反応の仕方が異なります。各アプリケーションの仕様や使用方法に合わせて設定変更してください。
キーリピート加速設定は、「Function Mode」がONの状態で設定が可能です。

FN+	ESC	=	Function Mode ON/OFF	
	F1		Repeat Delay 1x (初期設定)	Repeat Delayの設定が可能です。 各キーキャップ下部のLEDが点灯し、 設定状況が確認することができます。 （LED ColorAが点灯します。）
	F2		Repeat Delay 2x	
	F3		Repeat Delay 4x	
	F4		Repeat Delay 8x	
	Alt +F1		Repeat Rate 1x (初期設定)	Repeat Rateの設定が可能です。 各キーキャップ下部のLEDが点灯し、 設定状況が確認することができます。 （LED ColorBが点灯します。）
	Alt +F2		Repeat Rate 2x	
	Alt +F3		Repeat Rate 4x	
	Alt +F4		Repeat Rate 8x	

Advance Color Mixing Backlightモード

Ducky Shine4は、2色LED搭載しています。今後、LED色の組み合わせが異なる機種が登場する可能性があります。本書ではLED色については、ColorAおよびColorBと記載します。2つのLED色は、好みにあわせてミックスすることが可能です。Advance Color Mixing Backlightモードでは、ColorA及びColorBの明るさ変更（ミックスの方法）と7種のLED発光パターンの変更を提供します。

■発光パターンの変更

Fn + F9	1stモード:100% Full Backlight モード
	2ndモード: Color Cycling モード
	3rdモード : Waveモード
	4thモード : Snake Marquree モード
	5thモード : Reactive モード
	6thモード : Ripple モード
	7thモード : Aurora モード
	8thモード : Backlight　オフ

■LED色の輝度変更、発光パターンの変化速度の調整
Backlightモードの状態で、下記の操作が可能です。
Fn + F5 : Color Aの明るさ変更
Fn + F6 : Color Bの明るさ変更
Fn + F8 : Color A及びColorBの明るさ設定をリセット
Fn + ←: 発光パターンの変化速度Down
Fn + → : 発光パターンの変化速度Up

Preset Color Mixing Backlightモード

Ducky Shine4は、Advance Color Mixing Backlightモード以外に、Duckyが考案した7種類の発光パターンプリセットモードが準備されています。
プリセットモードでは、発光パターンの変化速度のみ調整が可能です。

■発光パターンの変更

Fn + F10	1stモード:100% Full Backlight モード
	2ndモード: Color Cycling モード
	3rdモード : Waveモード
	4thモード : Snake Marquree モード
	5thモード : Reactive モード
	6thモード : Ripple モード
	7thモード : Aurora モード

■発光パターンの変化速度の調整
Fn + ←: 発光パターンの変化速度Down
Fn + → : 発光パターンの変化Up

LED Zone Customization モード

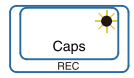
Ducky Shine4は、Duckyオリジナルのバックライトメモリーテクノロジーを搭載しています。
LED Zone Customization モードでは、発光させるキーと色を2つまで記憶することが出来ます。
また、記憶したキー位置のみがColor Cycling モードで発光させることも可能です。

Fn + F11	CM1 Cycle: ステップ1: 記憶したキー発光位置と色が再生されます。 ステップ2: 記憶したキー位置がColor Cycling モードで発光します。 ステップ3:CM1モードOFF
Fn + F12	CM2 Cycle: ステップ1: 記憶したキー発光位置と色が再生されます。 ステップ2: 記憶したキー位置がColor Cycling モードで発光します。 ステップ3:CM2モードOFF

Fn + PrtSc	REC1(CM1 記憶モード)
Fn + Pause	REC2(CM2 記憶モード)
CapsLock + Scroll Lock	REC Over（記憶モード終了）

◎キー毎のLED設定の記憶方法（RECモードにおける設定手順）
最初にLEDの発光色を調整し、その後点灯させたいキーを選択します。

1. CM1への記憶にはFn + PrtSc（REC1)を、CM 2 への記憶にはFn + Pauseを押し、
   各RECモードを起動させます。
2. CapsLock +F5/F6/F8を押して、設定した発光色に調整してください。
   LEDの調整状況は、CapsLockキー右上部の丸いLED窓から確認ができます。
   色が決まったら、発光させたい任意のキーを選択し、打鍵します。
   調整したLED色がそのキーに灯ります。
3. 2の作業を繰り返しながら、発光させたい任意のキーを全て選択してください。
4. 設定を記憶し、RECモードを終了させる場合は、CapsLock + Scroll Lockキーを押してください。



*RECモードを起動した時点では、前回記録したキー発光設定が表示されます。
*RECモードを30秒以内に終えなかった場合、それまでの設定は記憶されずにRECモードが終了します。

マルチメディアファンクション

Fn + Delate	Mute	Fn + 計算機	再生/一時停止
Fn + End	音量ダウン	Fn + マイコンピュータ	停止
Fn + PgDn	音量アップ	Fn + メール	前のトラック
-	-	Fn + Home	次のトラック

Demoモード

店頭展示する時に最適なデモモードです。PCに接続せずとも、市販のUSB充電器やモバイルバッテリーから給電を行ない、各LEDファンクション、発色パターンを再生することが可能です。
このモードでは、キーボードからキーコードの出力が行なわれないため、キー入力はできません。
左Ctrl+左Shift +CapsLockを押しながらUSBを給電元に接続

Automatic Display Demoモード

Fn + Space を３秒間押す（モードON) Fn + Space を押す（モードOFF)	下記のプリセットモードが一定間隔で 自動に繰り返されるデモモードです。 Reactive モード、Color Cycling モード、Waveモード Snake Marquree モード、Aurora モード、Ripple モード

工場出荷時初期状態に戻す

日本語配列	Fn + 左Windows (3秒間押し続けます。LEDが3度点滅すると、リセット完了です)

DIPスイッチの設定

	Off(Default)	On
DIP1	Default	左Ctrl とCapsLockの位置変更
DIP2	Default	Windowsと左Altの位置変更
DIP3	Default	Windowsキーロック
DIP4	Nキーロールオーバー	6キーロールオーバー

※注意
KVMスイッチ等を利用した場合、Nキーロールオーバーモードに対応しない可能性があります。その際は、6キーロールオーバーモードでの使用を推奨します。